



10月の園だより

令和5年10月1日

目黒区立中央町保育園 園長

秋空にトンボが飛び交い、涼しい風が心地よく過ごしやすい季節になりました。実りの秋を迎え、3歳児クラスが園庭脇の畑で育てているサツマイモは蔓が伸び、子どもたちは10月中旬に行う予定の芋掘りを楽しみにしています。

先日は、5歳児クラスがお月見団子作りをしました。お月見団子は秋の収穫に対する感謝の意味や次の季節の豊作を祈る意味などを込めてお供えするもので、丸い形の団子は満月に見立てられています。担任からお月見団子の由来を聞いた後、栄養士が上新粉をこねた物を子どもたちが丸めていきます。丸めた団子を目の前で茹でてもらい鍋の中で団子がプカプカと浮いてくると「ういてきた」「わたしのおだんご、どれだろう」と興味津々で見っていました。出来上がった団子を子どもたちがそっと積み上げてお月見団子が完成し、9月29日の十五夜まで事務所に飾られました。他のクラスの子どもたちも送迎の保護者の方と一緒にお月見団子を見て「おいしそうだね」「おうちでもつくりたいね」と会話が弾んでいました。デジタル化が進む現代ですが、日本の伝承行事を通して子どもたちの心を豊かに育てていきたいと感じました。

今月は五本木小学校をお借りして運動会があります。昨年度までは感染症への対策からクラスごとの開催でしたが、今年度は2歳児クラスから5歳児クラスまで一緒に行います。子どもたちがいつもの姿を発揮し楽しむのびのびと参加できるよう、職員一同でサポートしていききたいと思います。0、1歳児が参加出来る種目もありますので、ぜひ皆様でお越しください。

今月の予定

運動会（2・3・4・5歳児）
芋ほり遠足（4・5歳児）
中旬 身体計測 避難訓練

秋の定期検診（全園児）について

10月 0・1・2歳児
11月 3・4・5歳児

～ 避難訓練の様子 ～

ホールに全クラスが避難した後幼児クラスのみ残り、避難リュックの中身を紹介しました。特に子どもたちが興味を示したのは銀色の大きなシート（エマージェンシーシート）です。「寒い時でもこのシートをかぶると暖かく過ごせるよ」と伝えると安心した表情をしていました。



お昼にアルファ米を食べました。お湯で膨らむお米に驚きながらも「白くてつやつやしていて、いつも食べてるお米と同じだね」と言っています。食べてみると「おいしい」と好評でした。



「今日は何して遊ぼうかな？」

子どもたちは、保育園で色々な遊びを毎日楽しんでいます。
今回は0歳児と4歳児の室内遊びの様子についてお知らせします。



つくし組（0歳児クラス）

低月児は、寝返りやすすり這いをするようになりました。保育士がベビーキューブなどの音の鳴る玩具を鳴らして「音聞こえたね」と近くに置くと“なんだろう”と手足を使って掴もうとする姿が見られます。手に取ると、床にカンカンとぶつかる音を楽しんだり、仰向けになって玩具同士をぶつけて鳴らしたりしながら感触や音を楽しんでいます。

高月児は、歩行を楽しむようになり、手提げバッグに玩具を入れて散歩のように保育室を歩いています。「行ってらっしゃい」と声をかけると、自分の好きなジュースやチェーン、積み木などをバッグに入れて持ち歩き「んー」と取り出して保育士に渡してくれます。保育士が色水のボトルを受け取り「ジュースありがとう」と言うと言葉を聞いて頭を下げ“どうもー”のやりとりを笑顔で楽しみます。それからは、また歩いて玩具を入れに行くという遊びを繰り返し楽しんでいます。

言葉にならない思いを子どもたちの仕草や表情などから受け止めて、保育士が言葉にしたり共感したりしながら子どもたちとのやりとりを楽しんでいきたいと思えます。



いちよう組（4歳児クラス）

折り紙の端から細く丸めて棒を作ることがブームだった子どもたちは、夏の間には様々な色紙を使って、切ったり貼ったりして作品を作ることが楽しくなりました。最初は平面でブルドーザーやお家などを切って作ったのですが「電車を(立体的に)作りたい」という気持ちが生まれ、保育士からヒントをもらい、切っては貼り、切っては貼りと試行錯誤して、つぎはぎの立方体の電車ができ上がりました。どの子ども達成感に満ち溢れた表情でした。

また、人魚の絵を描いていた子が絵を切り抜いて紙コップに貼り付けると、カメの絵を描いた子ども紙コップに貼り付け「海に行きたいね」と今度は青くて薄いロンディという玩具を青い画用紙の上に敷き詰めて海に見立てて「泳ぎましょ」「ザブーン」と海の世界を楽しみました。その後は人魚に新しい服を作って「これ着せるんだ」と着せ替え人形のように着せていました。

子どもたちは発想や表現力が豊かなので、これからも色々な素材でどのような作品が出来上がるのか楽しみにしています。

